

補助金評価シート(平成21年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
98005	消火栓ホース購入補助金	辰野消防署	施設係	署長 赤羽 守	小野 廣夫
		一次評価年月日	平成 22 年 6 月 20 日	連絡先(内線)	2601
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0902	非常備消防事業	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	3章	夢のある地域形成	
		節 (コード選択)	5節	安全な生活環境をつくる	
		項[基本施策] (コード選択)	351	災害に強いまちづくり	
		主な取り組み (コード選択)	3517	消防水利(防火水槽・消火栓)の整備・維持管理	
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input checked="" type="checkbox"/> その他			
	補助金の期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続 (開始) 年度 ~ (終了予定) 年度			
	補助金の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費補助 <input type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他()			
	補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input checked="" type="checkbox"/> 条例規則 <input type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)			
補助金の算定方式	<input checked="" type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定額補助				
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり (町 / 10) (県 / 10) (国 / 10)				

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

<input type="checkbox"/> 一部事務組合等	<input type="checkbox"/> 公益法人	<input checked="" type="checkbox"/> 企業や団体	<input type="checkbox"/> 個人
----------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------------	-----------------------------

(交付団体名 : 地域団体・消防団)

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいですか。

地域住民が火災発生時に、迅速に初期消火として行えるように、補助金の交付をする。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	老朽化した消火栓ホースの購入費補助として、区に対して補助金を交付し、防災に対する意識を高める。
2	

(3) 補助金事業の実績【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		20年度	21年度	22年度 (見込み)		22	年度 (見込み)
① 指標名	消火栓用ホース購入補助金	千円	300	400	400		400
① 説明	消火栓用ホース1本に5,000円の購入補助	目標値設定の根拠	破損・老朽化するため永年とする				
② 指標名							
② 説明		目標値設定の根拠					

(4) 交付額実績 / 計画の推移【Do2】

		平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度										
事業費(円)		1,680,000			2,240,000			2,240,000			2,240,000										
補助率(町負担分)		18%			18%			18%			18%										
町交付額(円)		300,000			400,000			400,000			400,000										
財源内訳	国庫支出金																				
	県支出金																				
	地方債																				
	その他	1,380,000			1,840,000			1,840,000			1,840,000										
一般財源		300,000			400,000			400,000			400,000										
人件費の概算		(千円)																			
対前年比								%													
		課長		課長補佐		係長		一般職員		延べ人数		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費						
		H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23	/	/	/	/			
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.04	0.00	0.00	0.00	0.12	0.12	0.12	0.16	0.17	0.17	0.17	1,168	1,154	1,165	1,165
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート												0	0	0	0				

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	減額年度は減少したが、毎年更新予定の区より要望がある。
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	防災力と意識向上の為、必要である。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	町全体に防災力が向上している。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	防災力を維持するには必要である。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	B	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	事業期待が災害における使用等になるため、具体的な数値を出す事は困難である。
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	A	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	地域住民の初期消火活動により、延焼を最小限にする事ができた。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	B	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	申請による補助事業なので、すべて公平にならない。
その他	これまでに見直し実績はあるか	A	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	防災力と防災意識を維持していくため
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		災害時の被害軽減		

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	22年度予算見積書への反映	<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
地元区の負担軽減のために消火栓の資機材維持整備を今後も実施。補助金を活用しながら、住民の防火意識の高揚を図り、消火栓の使用方法を指導していく。	[反映内容]	負担軽減			

(7) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
補助金の範囲内で区の要望どおり配分ができた。今後も住民が消火栓の使用できるよう、訓練を呼びかけ、暑でも地域防災組織と一体になり指導、連携を心がける。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記 a ~ c を選択